

南大沢スマートシティ協議会について

【概要】

都は、デジタルの力で東京のポテンシャルを引き出し、都民が質の高い生活を送る「スマート東京」の実現を目指しています。南大沢は、多摩ニュータウン西部の拠点において、学術研究（都立大学）とまちづくりが連携するエリアであることから、「スマート東京」先行実施エリアの一つに位置づけられており、先端技術を活用した分野横断的なサービスの都市実装を目指しています。

この取組を推進していくため、令和2年10月27日に「南大沢スマートシティ協議会」を設立し、地元八王子市、地元企業及び通信事業者等と共に、地域の課題解決に向けて、先端技術を活用したまちづくりの検討を開始しました。

<東京都都市整備局・南大沢スマートシティ協議会ホームページ>

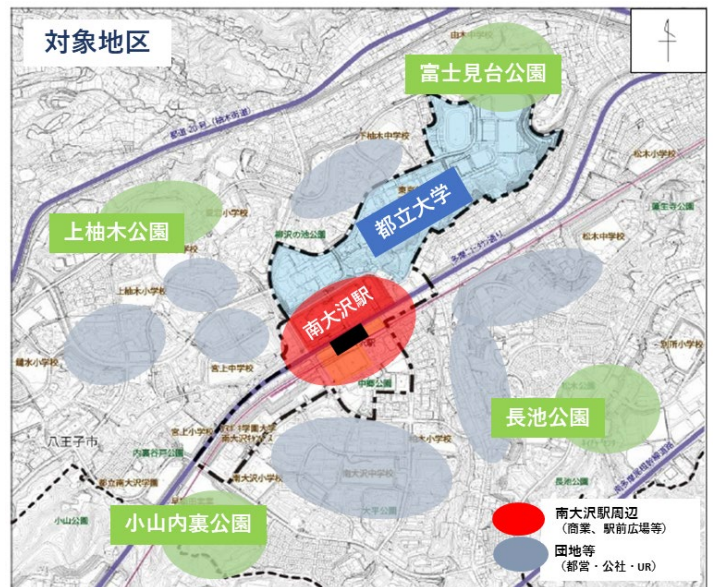
https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/bunyabetsu/machizukuri/minami_osawa.html

<南大沢スマートシティ協議会ホームページ>

<https://minamiosawa-smartcity.jp/>

【地域の課題(例)】

- ・丘陵地の高低差の負担軽減
- ・団地から駅、バス停までのアクセス確保
- ・住民、来街者の回遊性による賑わい創出
- ・効率的な荷物搬送、物流の実現
- ・まちの案内情報発信 等



【先端技術を活用した具体施策(案)】

<モビリティ>

- ・自動車椅子、自動運転バス、MaaS、電動キックボード、電動シェアサイクル等

<まちの賑わい>

- ・自動運搬ロボット、アバターによる遠隔案内、無人宅配ロボット、駐車場システム(満空情報等)、無人店舗等

<情報・その他>

- ・デジタルサイネージによる情報提供、サテライトオフィス、3Dデジタルマップ等

【参考:実証実験(例)】 ※昨年度の実験の様子



<自動運転 車椅子>



<自動運搬ロボット>



<店舗案内ロボット>